

第2回寄附講義「会社研究」 5月20日

講師：大分県信用組合理事長 吉野一彦

テーマ：大分県信用組合の地域密着型金融

今回もオンライン形式での講義です。吉野理事長が、大分県信用組合が多面的に実践している地域密着型金融を中心に講義されました。

信用組合は組合員がお金を出し合って助け合う共存共栄の金融機関です。大分県信用組合は昭和28年に設立されました。



講義の詳細は資料をご参照ください。営業基本方針「歩いて、歩いて、歩きまわれ。見て、見て、見まわれ。聞いて、聞いて、聞きまわれ。そしてお客様の役に立て」など、惹きつけられるフレーズがあふれています。

幅広く展開されている地域密着型金融について、理事長が熱く語られた中からいくつかご紹介します。

○県が進める健康寿命日本一の取組への支援

健康診断を受けた人の健康定期預金

健康寿命日本一おうえん融資ファンド

受動喫煙防止対策融資ファンド「まろっと健康」

大分大学や地方自治体と連携した健康セミナーの開催

大分県歯科医師会、大分県看護協会、大分県病院協会等との連携

警察共済組合、地方職員共済組合等との連携

○県が進める子育て満足度日本一への応援

子育て応援定期

子育て応援定期積金「文殊の知恵」

臼杵市“夢”応援教育ローン（無利子）

○観光振興への支援

インターコンチネンタルホテルの別府誘致

宇佐国東半島の観光地域振興広域連携プロジェクト

宇佐国東半島おうえん融資ファンド「輝き7」

多言語解説システム

講義の最後に吉野理事長より、国立大学法人の学生として、卒業後は県民のために活躍することを期待するとの言葉がありました。

### 卒業生から見た「けんしん」

引き続き、同組合経営管理部調査役の佐藤三和さん（大 45）が卒業生の視点で大分県信用組合の紹介をされました。現在、経済学部 46 名を中心に大分大学の卒業生が 60 名働いており、中には役職者、管理職になっている人も多いこと、女性が活躍していることなどについて説明されました。県内の就職人気企業ランキングでは 3 年連続で 2 位になっているそうです。